

科目名	高齢者の生理学的特徴・変化					
分野	専門基礎分野	担当教員	照沼 美穂			
開講時期	1学年 2学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	15		1			
科目の概要	本科目では、高齢者の生理学的特徴や変化を理解することを目的とする。はじめに、からだを構成する細胞の基本構造と機能について学ぶ。次に、体内の物質の運搬や免疫機能を担う「血液」について学び、さまざまな生体機能を理解する。最後に、加齢に伴って起こる細胞や臓器の変化や身体機能の低下について学ぶ。					
学習の到達目標	からだを構成する細胞の構造と機能、加齢に伴う変化について理解するとともに、一般の人にわかりやすく説明することができるための能力を身につける。					
成績評価の方法と基準	試験の成績、小テストおよび授業中の課題や授業態度					
使用テキスト	南江堂「生理学(改訂第4版)」社団法人全国柔道整復学校協会監修、彼末一之 編集					
参考文献						
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	細胞の構造と機能(細胞膜と核)					
2	細胞の機能(遺伝子、細胞内小器官)、組織、体液の区分と組成					
3	血液Ⅰ:血液の成分と組成					
4	血液Ⅱ:止血、血液型					
5	血液Ⅲ:免疫					
6	高齢者の生理学的特徴・変化(細胞の変化からからだの変化まで)					
7	1～6講義の演習(ふりかえり学習)					
8	総合評価(まとめ)					

(2026年度)